

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第4322569号  
(P4322569)

(45) 発行日 平成21年9月2日(2009.9.2)

(24) 登録日 平成21年6月12日(2009.6.12)

(51) Int.Cl. F I  
G O 6 F 12/00 (2006.01) G O 6 F 12/00 5 1 3 J

請求項の数 9 (全 12 頁)

(21) 出願番号	特願2003-179325 (P2003-179325)	(73) 特許権者	000227205 N E C インフロンティア株式会社 神奈川県川崎市高津区北見方2丁目6番1号
(22) 出願日	平成15年6月24日(2003.6.24)	(74) 代理人	100065385 弁理士 山下 穰平
(65) 公開番号	特開2005-18214 (P2005-18214A)	(74) 代理人	100130029 弁理士 永井 道雄
(43) 公開日	平成17年1月20日(2005.1.20)	(72) 発明者	小林 佳和 神奈川県川崎市高津区北見方2丁目6番1号 エヌイーシーインフロンティア株式会社内
審査請求日	平成17年6月7日(2005.6.7)	審査官	野田 佳邦

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 アドレスリンク・システム及び方法並びにそのプログラム

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

個人データが登録されているファイルを複数有し、前記個人データを更新するクライアント端末と、前記クライアント端末とネットワークを介して接続され、前記クライアント端末からの要求に従って自らが有している、個人データが登録されている複数のファイルの中から前記個人データを検索するサーバーと、を備えるアドレスリンク・システムにおける前記クライアント端末であって、

個人データを検索するための条件である検索条件を受け付ける検索条件入力手段と、

前記検索条件入力手段が受け付けた検索条件によって指定された検索先が当該クライアント端末だった場合に、検索条件に従って、当該クライアント端末が有している複数のファイル内から、特定の個人データを検索する第1の検索手段と、

保存先として、当該クライアント端末又は前記サーバーの何れを指定するかの指示を受け付け、前記指示が保存先として当該クライアント端末を指定する指示だった場合であり、前記第1の検索の結果、同一名称の個人に関して複数の前記個人データが存在した場合に、当該複数の個人データの中から当該複数の個人データの種別毎にそれぞれ更新日時が最新の個人データを選択し、選択した当該個人データを、個人ごとに対応するグループを設定し当該グループを階層化することによりツリー状のデータ構造を有している1つのファイル内の対応する個人データと置き換えることにより当該クライアント端末に登録する第1の保存実行手段と、

を備えることを特徴とするクライアント端末。

10

20

## 【請求項2】

請求項1に記載のクライアント端末と、前記クライアント端末とネットワークを介して接続された、前記サーバーと、を備えるアドレスリンク・システムであって、

前記クライアント端末が、

前記検索条件入力手段が受け付けた検索条件によって指定された検索先が前記サーバーだった場合に、検索条件に従って、前記サーバーの有している複数のファイル内から、特定の個人データの検索をすることを前記サーバーに要求する検索要求手段を更に備え、

前記サーバーが、

前記クライアント端末からの要求に応じて、前記検索条件に従って、当該サーバーの有している複数のファイル内から、特定の個人データを検索する第2の検索手段と、

10

前記第2の検索の結果、同一名称の個人に関して複数の前記個人データが存在した場合に、当該複数の個人データの中から当該複数の個人データの種別毎にそれぞれ更新日時が最新の個人データを選択し、選択した当該個人データを、前記クライアント端末に送信する送信手段と、

を備えることを特徴とするアドレスリンク・システム。

## 【請求項3】

請求項2に記載のアドレスリンク・システムであって、

前記第1の保存実行手段が、保存先として前記サーバーを指定する指示を受け付けた場合であり、前記第1の検索手段における検索の結果、同一名称の個人に関して複数の前記個人データが存在した場合に、当該複数の個人データの中から当該複数の個人データの種別毎にそれぞれ更新日時が最新の個人データを選択し、選択した当該個人データを、個人ごとに対応するグループを設定し当該グループを階層化することによりツリー状のデータ構造を有している1つのファイル内の対応する個人データと置き換えることにより当該サーバーに登録することを特徴とするアドレスリンク・システム。

20

## 【請求項4】

個人データが登録されているファイルを複数有し、前記個人データを更新するクライアント端末と、前記クライアント端末とネットワークを介して接続され、前記クライアント端末からの要求に従って自らが有している、個人データが登録されている複数のファイルの中から前記個人データを検索するサーバーと、を備えるアドレスリンク・システムにおける前記クライアント端末におけるアドレスリンク方法であって、

30

個人データを検索するための条件である検索条件を受け付ける検索条件入力ステップと、

前記検索条件入力ステップにおいて受け付けた検索条件によって指定された検索先が当該クライアント端末だった場合に、検索条件に従って、当該クライアント端末が有している複数のファイル内から、特定の個人データを検索する第1の検索ステップと、

保存先として、当該クライアント端末又は前記サーバーの何れを指定するかの指示を受け付け、前記指示が保存先として当該クライアント端末を指定する指示だった場合であり、前記第1の検索の結果、同一名称の個人に関して複数の前記個人データが存在した場合に、当該複数の個人データの中から当該複数の個人データの種別毎にそれぞれ更新日時が最新の個人データを選択し、選択した当該個人データを、個人ごとに対応するグループを設定し当該グループを階層化することによりツリー状のデータ構造を有している1つのファイル内の対応する個人データと置き換えることにより当該クライアント端末に登録する第1の保存実行ステップと、

40

を備えることを特徴とするアドレスリンク方法。

## 【請求項5】

請求項4に記載の各ステップを行うクライアント端末と、前記クライアント端末とネットワークを介して接続された、前記サーバーと、を備えるアドレスリンク・システムにおけるアドレスリンク方法であって、

前記クライアント端末が、前記検索条件入力ステップにおいて受け付けた検索条件によって指定された検索先が前記サーバーだった場合に、検索条件に従って、前記サーバーの

50

有している複数のファイル内から、特定の個人データの検索をすることを前記サーバーに要求する検索要求ステップと、

前記サーバーが、前記クライアント端末からの要求に応じて、前記検索条件に従って、当該サーバーの有している複数のファイル内から、特定の個人データを検索する第2の検索ステップと、

前記サーバーが、前記第2の検索の結果、同一名称の個人に関して複数の前記個人データが存在した場合に、当該複数の個人データの中から当該複数の個人データの種別毎にそれぞれ更新日時が最新の個人データを選択し、選択した当該個人データを、前記クライアント端末に送信する送信ステップと、

を備えることを特徴とするアドレスリンク方法。

10

【請求項6】

請求項5に記載のアドレスリンク方法であって、

前記第1の保存実行ステップにおいて、保存先として前記サーバーを指定する指示を受け付けた場合であり、前記第1の検索ステップにおける検索の結果、同一名称の個人に関して複数の前記個人データが存在した場合に、当該複数の個人データの中から当該複数の個人データの種別毎にそれぞれ更新日時が最新の個人データを選択し、選択した当該個人データを、個人ごとに対応するグループを設定し当該グループを階層化することによりツリー状のデータ構造を有している1つのファイル内の対応する個人データと置き換えることにより当該サーバーに登録することを特徴とするアドレスリンク方法。

【請求項7】

20

個人データが登録されているファイルを複数有し、前記個人データを更新するクライアント端末と、前記クライアント端末とネットワークを介して接続され、前記クライアント端末からの要求に従って自らが有している、個人データが登録されている複数のファイルの中から前記個人データを検索するサーバーと、を備えるアドレスリンク・システムにおける前記クライアント端末におけるアドレスリンク・プログラムであって、

個人データを検索するための条件である検索条件を受け付ける検索条件入力手段と、

前記検索条件入力手段が受け付けた検索条件によって指定された検索先が当該クライアント端末だった場合に、検索条件に従って、当該クライアント端末が有している複数のファイル内から、特定の個人データを検索する第1の検索手段と、

保存先として、当該クライアント端末又は前記サーバーの何れを指定するかの指示を受け付け、前記指示が保存先として当該クライアント端末を指定する指示だった場合であり、前記第1の検索の結果、同一名称の個人に関して複数の前記個人データが存在した場合に、当該複数の個人データの中から当該複数の個人データの種別毎にそれぞれ更新日時が最新の個人データを選択し、選択した当該個人データを、個人ごとに対応するグループを設定し当該グループを階層化することによりツリー状のデータ構造を有している1つのファイル内の対応する個人データと置き換えることにより当該クライアント端末に登録する第1の保存実行手段と、

30

を備えるクライアント端末としてコンピュータを機能させることを特徴とするアドレスリンク・プログラム。

【請求項8】

40

請求項7に記載のクライアント端末と、前記クライアント端末とネットワークを介して接続された、前記サーバーと、を備えるアドレスリンク・システムにおける請求項7に記載のアドレスリンク・プログラムであって、

前記クライアント端末が、

前記検索条件入力手段が受け付けた検索条件によって指定された検索先が前記サーバーだった場合に、検索条件に従って、前記サーバーの有している複数のファイル内から、特定の個人データの検索をすることを前記サーバーに要求する検索要求手段を更に備え、

前記サーバーが、

前記クライアント端末からの要求に応じて、前記検索条件に従って、当該サーバーの有している複数のファイル内から、特定の個人データを検索する第2の検索手段と、

50

前記第2の検索の結果、同一名称の個人に関して複数の前記個人データが存在した場合に、当該複数の個人データの中から当該複数の個人データの種別毎にそれぞれ更新日時が最新の個人データを選択し、選択した当該個人データを、前記クライアント端末に送信する送信手段と、

を備えるアドレスリンク・システムとしてコンピュータを機能させることを特徴とするアドレスリンク・プログラム。

【請求項9】

請求項8に記載のアドレスリンク・プログラムであって、

前記第1の保存実行手段が、保存先として前記サーバーを指定する指示を受け付けた場合であり、前記第1の検索手段における検索の結果、同一名称の個人に関して複数の前記個人データが存在した場合に、当該複数の個人データの中から当該複数の個人データの種別毎にそれぞれ更新日時が最新の個人データを選択し、選択した当該個人データを、個人ごとに対応するグループを設定し当該グループを階層化することによりツリー状のデータ構造を有している1つのファイル内の対応する個人データと置き換えることにより当該サーバーに登録することを特徴とするアドレスリンク・プログラム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、クライアント（ローカルPC）又はサーバーの有するデータ・ファイルのアドレスを検索して登録データを再構築するアドレスリンク・システムに関する。

【0002】

【従来の技術】

従来、電話帳、住所録等の個人情報をPC上で管理する場合、表計算ソフト、データベースソフト、スケジューラーソフト、年賀状ソフト、OCRスキャンソフト、宛名書きソフト、メーカーといったように、目的毎に異なるファイルに保存してきた。

【0003】

また、ネットワークに接続されたデジタル送信機のアドレスブックを自動的に同期させ更新するローカルアドレスブック同期システムが開示されている（例えば、特許文献1参照）。

【0004】

【特許文献1】

特開2001-177540号公報

【0005】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、同じ人のデータが様々な場所に分散し、個人データの検索が煩雑で手間がかかっていた。これらデータをひとつのファイルにまとめるにしても、個々のソフトは異なるファイル形式でデータを保存しており互換性がないものが多く、個々のソフトを使い続けるうちはまとめることが困難であった。

【0006】

また、同じ人でも引越し等での住所や電話番号が変更になった場合、あるソフトのファイルには新しいデータが入っていて、他のソフトのファイルには古いデータが入っていると言うことがあり、どちらが新しいデータなのか判断するのが難しかった。

【0007】

さらに、前述したファイルをサーバーにて、複数の人が共有しているときは、特に自分以外の人間がデータを更新する場合も多く検索も困難であった。

【0008】

そこで本発明は、クライアント又はサーバーの有するデータ・ファイルに登録してあるデータを検索して、ツリー状のデータ構造を有する1つのファイルに再構築するアドレスリンク・システム及び方法並びにそのプログラムを提供することを目的とする。

【0009】

10

20

30

40

50

**【課題を解決するための手段】**

上述の課題を解決するため、本発明は、個人データが登録されているファイルを複数有し、前記個人データを更新するクライアント端末と、前記クライアント端末とネットワークを介して接続され、前記クライアント端末からの要求に従って自らが有している、個人データが登録されている複数のファイルの中から前記個人データを検索するサーバーと、を備えるアドレスリンク・システムにおける前記クライアント端末であって、個人データを検索するための条件である検索条件を受け付ける検索条件入力手段と、前記検索条件入力手段が受け付けた検索条件によって指定された検索先が当該クライアント端末だった場合に、検索条件に従って、当該クライアント端末が有している複数のファイル内から、特定の個人データを検索する第1の検索手段と、保存先として、当該クライアント端末又は前記サーバーの何れを指定するかの指示を受け付け、前記指示が保存先として当該クライアント端末を指定する指示だった場合であり、前記第1の検索の結果、同一名称の個人に関して複数の前記個人データが存在した場合に、当該複数の個人データの中から当該複数の個人データの種別毎にそれぞれ更新日時が最新の個人データを選択し、選択した当該個人データを、個人ごとに対応するグループを設定し当該グループを階層化することによりツリー状のデータ構造を有している1つのファイル内の対応する個人データと置き換えることにより当該クライアント端末に登録する第1の保存実行手段と、を備えることを特徴とする。

10

**【0010】**

また、クライアント端末と、前記クライアント端末とネットワークを介して接続され、個人データが登録されているファイルを複数有し前記クライアント端末からの要求に従って前記個人データを検索するサーバーと、を備えるアドレスリンク・システムであって、前記クライアント端末が、前記検索条件入力手段が受け付けた検索条件によって指定された検索先が前記サーバーだった場合に、検索条件に従って、前記複数のファイル内から、特定の個人データの検索を前記サーバーに要求する検索要求手段を更に備え、前記サーバーが、前記クライアント端末からの要求に応じて、前記検索条件に従って、前記複数のファイル内から、特定の個人データを、当該サーバーが有する前記複数のファイル内から検索する第2の検索手段と、前記検索の結果、同一名称の個人に関して複数の前記個人データが存在した場合に、当該複数の個人データの中から更新日時が最新の個人データを選択し、選択した当該個人データを、前記クライアント端末に送信する送信手段と、を備える

20

30

**【0011】**

以上の構成によって、クライアント又はサーバーの複数のファイルに登録してある個人データを検索し、1つのファイルのデータとして表示することができ、あるいは、そのデータをツリー状のデータ構造を有する1つのファイルに再構築して保存できる。

**【0012】****【発明の実施の形態】**

次に、本発明の実施の形態について図面を参照して説明する。

**【0013】**

図1は、本発明によるクライアント端末(ローカルPC)上及びサーバー上のアドレスリンカー(プログラム)の関係を示し、両者はネットワークを介してデータの送受信を行う。本実施形態では、アドレス検索のプロトコルとして、LDAP(Lightweight Directory Access Protocol)を用いる。LDAPを用いることによって、IP(Internet Protocol)ネットワークを介して、クライアントとサーバー間でファイルの共有及びディレクトリ・アクセスが可能となる。

40

**【0014】**

LDAPクライアントのアドレスリンカー1(ローカル・アドレスリンカー)は、Excelファイル、Outlook Phone Bookファイル、年賀状ソフト、OCRスキャンソフト等の自己の複数のファイルのデータを検索するか、LDAPサーバー上に登録してある複数のファイルのデータを検索できる機能を有する。

50

## 【0015】

L D A Pサーバーのアドレスリンカー 2 は、個人データを共有するためのものであり、ローカル・アドレスリンカーと同様にサーバー上のExcelファイル、Outlook Phone Bookファイル、年賀状ソフト、OCRスキャンソフト等の複数のファイルのデータ検索機能を持っており、L D A Pクライアント 1 からのデータ検索と登録要求に応ずる機能を有する。

## 【0016】

検索方法の 1 つは L D A Pクライアントが自己のファイルに保存してあるデータの検索方法であり、他の 1 つは L D A Pサーバーに登録してあるファイルのデータを検索する方法である。

## 【0017】

図 2 を参照すると、本発明のローカル P C 上のアドレスリンカー・プログラムは、3 ブロックで構成されている。検索条件入力ブロックは、検索条件、検索項目と検索方法を入力するブロックである。検索ブロックは、ローカル P C 検索と L D A Pサーバーへの検索要求で構成されている。検索結果表示ブロックは、データの検索結果表示を実行し、検索結果表示と共に最新データの強調表示と保存プログラム実行ボタンか検索プログラム終了ボタンを表示するブロックである。

10

## 【0018】

出力は図 3 に示すような検索結果一覧表である。検索データが複数エントリ、すなわち同一名称の個人データが複数のファイルに登録されている場合、最新データを強調表示（ハイライト）する。この強調表示とは、表示の輝度を変える、白黒反転させる、他の色に着色表示する等によって、周りの部分の表示から目立たせる表示のことである。さらに、図の上側の検索結果一覧表で 印をした最新データを選択して、下側の一覧表のデータ・ファイルに再構築して保存することができる。

20

## 【0019】

図 4 は、そのファイルのデータ構造を示す。図の左側に示す一覧表から選択した単一階層構造のファイル・データを、図の右側に示すグループ毎の階層を有するツリー状のデータ構造を有する 1 つのファイル (Web Dial Phone Book) に再構築して保存することを示す。すなわち、左側に示す一覧表では、各名前に対応するデータが、あいうえお順等の単一階層で登録されているのに対し、右側に示す一覧表では、A グループの下に a a グループ、a b グループが所属し、各名前に対応するデータは、それらのグループに再構築して登録される。L D A Pクライアントの L D A P 対応アプリケーションソフト（メーカー等）は、この再構築したファイルのデータにアクセスできる。

30

## 【0020】

図 5 を参照すると、本発明のサーバー上のアドレスリンカー・プログラムは、3 ブロックで構成されている。検索条件入力ブロックは、検索条件、検索項目を入力するブロックである。検索ブロックは、サーバー上の検索を行う。検索結果表示ブロックは、データの検索結果表示を実行し、検索結果表示と共に最新データの強調表示と保存プログラム実行ボタンか検索プログラム終了ボタンを表示するブロックである。

## 【0021】

出力は図 6 に示すようなサーバー上検索結果一覧表として、L D A Pクライアントへ通知される。検索データが複数エントリであった場合、最新データを強調表示する。さらに、図の上側の検索結果一覧表で 印をした最新データを選択して、下側の一覧表に示すツリー状のデータ構造を有する 1 つのファイルに再構築して保存できる機能を有する。

40

## 【0022】

このようにして、異なるファイルに保存してある個人データを検索して、更新日時からその新旧を判断し、その判断結果に基づき、1 つの最新データを表示すると共にそのデータをツリー状のデータ構造を有するファイルに保存する。さらに、L D A Pサーバー・クライアント機能により、他人の最新データを参照可能にする。

## 【0023】

次に、図 7 に示すフローチャートを参照して、ローカル P C 上のアドレスリンカーの動作

50

について説明する。

【 0 0 2 4 】

まず、プログラムを実行すると、図 8 に示す入力画面が表示されるので、検索項目と検索条件を指定する。検索項目として、図 3 の検索一覧表の名、姓、メールアドレス、電話、携帯電話、会社名、住所等の項目を指定する。

【 0 0 2 5 】

検索場所の指定は、ローカル P C に登録してあるデータ・ファイルやサーバーに登録してあるデータ・ファイルの場所を選択する ( S 1 )。ローカル P C に登録してあるデータ・ファイルの場所を指定した場合は、ローカル P C のファイルの検索を実行する ( S 2 )。サーバーに登録してあるデータ・ファイルの場所を指定した場合は、L D A P サーバーに検索要求を送信し ( S 9 )、L D A P サーバーで検索実行して ( S 1 0 )、L D A P クライアント ( ローカル P C ) に検索結果を通知する。サーバー上のアドレスリンカーは、サーバー上のデータ・ファイルの検索機能を有する。

10

【 0 0 2 6 】

ローカル P C では、検索結果を収集して図 2 の検索結果表示ブロックを実行する ( S 3 )。検索結果により 2 件以上検索件が有る場合は ( S 4 )、検索結果一覧表を表示する ( S 5 )。そしてファイルの更新日時の判断によりテーブル上の最新データを強調表示する ( S 6 )。さらに、ユーザの任意で検索結果を再構築して保存する場合は ( S 7 )、図 3 に示すように各フィールドの最新データでツリー状のデータ構造を有する 1 つのファイルを再構築して保存する ( S 8 )。保存後か保存無しのいずれかの状態で、検索終了によりプログラムが完了する。

20

【 0 0 2 7 】

ステップ 4 で、2 件以上検索件が無い場合は、検索件が 1 つエントリか否か判定して ( S 1 1 )、1 つの場合はそのデータを表示する ( S 1 2 )。検索件が無い場合は、検索無効のメッセージを表示する ( S 1 3 )。

【 0 0 2 8 】

次に、図 9 に示すフローチャートを参照して、サーバー上のアドレスリンカーの動作について説明する。サーバー上のアドレスリンカーは、L D A P クライアントの要求に応じて、L D A P サーバーに予め登録してある複数のファイルのデータを検索できる機能を有し、検索結果は L D A P クライアントに通知する。

30

【 0 0 2 9 】

ローカル P C 上のプログラムを実行すると、入力画面が表示されるので、サーバーに登録してあるデータ・ファイルの場所を選択する。検索項目として、図 6 に示す検索一覧表の名、姓、メールアドレス、電話、携帯電話、会社名、住所等の項目を指定して、サーバーに送信する。

【 0 0 3 0 】

これを受信して、サーバー上のアドレスリンカーは、サーバー上のファイルの検索を実行し ( S 2 1 )、検索結果により 2 件以上検索件が有る場合は ( S 2 2 )、検索結果一覧表を作成する ( S 2 3 )。そしてファイルの更新日時の判断によりテーブル上の最新データを強調表示するためのデータを作成する ( S 2 4 )。さらに、ユーザの任意で検索結果を再構築して保存する場合は ( S 2 5 )、図 6 に示すように各フィールドの最新データでツリー状のデータ構造を有する 1 つのファイルを再構築して保存すると共に、検索要求があった個人データを最新データのみで構成される 1 つのデータとしてローカル P C に送信する ( S 2 6 )。保存後か保存無しのいずれかの状態で、検索終了によりプログラムが完了する。

40

【 0 0 3 1 】

ステップ 2 2 で、2 件以上検索件が無い場合は、検索件が 1 つエントリか否か判定して ( S 2 7 )、1 つの場合はそのデータを表示するためのデータをローカル P C に送信する ( S 2 8 )。検索件が無い場合は、検索無効のメッセージを表示するためのデータをローカル P C に送信する ( S 2 9 )。

50

## 【 0 0 3 2 】

## 【 発明の効果 】

以上説明したように、本発明による第1の効果は、アドレスリンカー・プログラムにより、PCの複数のファイルに登録してある個人データを検索し、1つのファイルのデータとして表示することができることである。そのデータは、ツリー状のデータ構造を有する1つのファイルに再構築して保存できるので、保存後の個人データ処理が単純になる。

## 【 0 0 3 3 】

第2の効果は、同一名称の個人データが複数のファイルに登録されている場合、最新データを強調表示するのでデータベース保守時間の短縮効果もある。

## 【 0 0 3 4 】

さらに、LDAPクライアントからLDAPサーバーに個人情報のデータベースを構築することにより、個人データの共有ができるので、自分以外の人のデータも参照することができる。

## 【 図面の簡単な説明 】

【 図 1 】 本発明によるクライアント上及びサーバー上のアドレスリンカーの関係を示す図である。

【 図 2 】 ローカルPC上のアドレスリンカー・プログラムの構成図である。

【 図 3 】 ローカルPC上の検索結果一覧表を示す図である。

【 図 4 】 ファイルのデータ構造の説明図である。

【 図 5 】 サーバー上のアドレスリンカー・プログラムの構成図である。

【 図 6 】 サーバー上の検索結果一覧表を示す図である。

【 図 7 】 ローカルPC上のアドレスリンカーのフローチャートである。

【 図 8 】 入力画面を示す図である。

【 図 9 】 サーバー上のアドレスリンカーのフローチャートである。

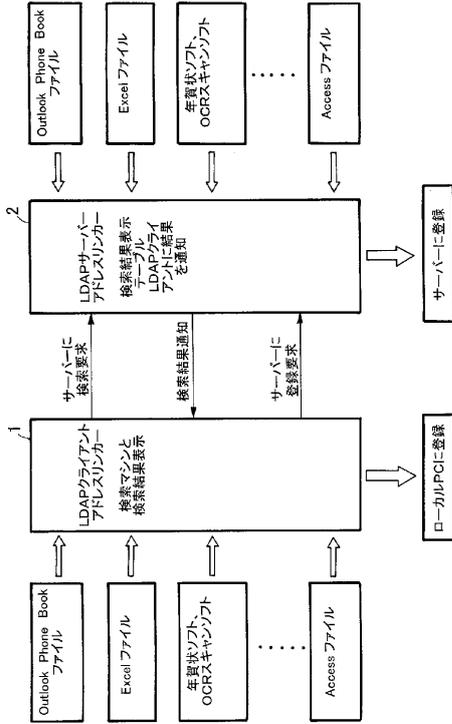
## 【 符号の説明 】

- 1 LDAPクライアントのアドレスリンカー
- 2 LDAPサーバーのアドレスリンカー

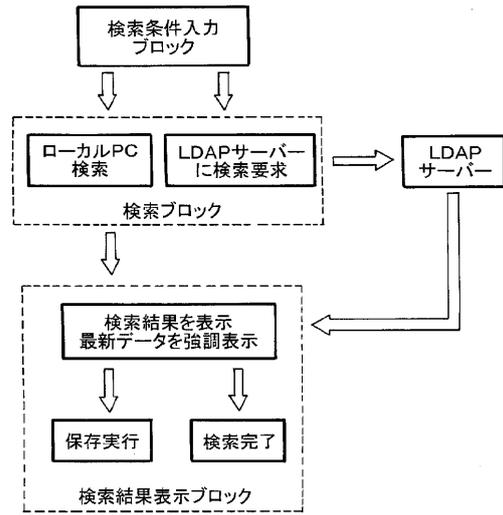
10

20

【図1】



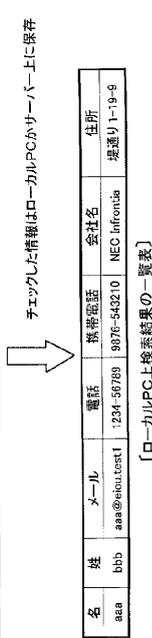
【図2】



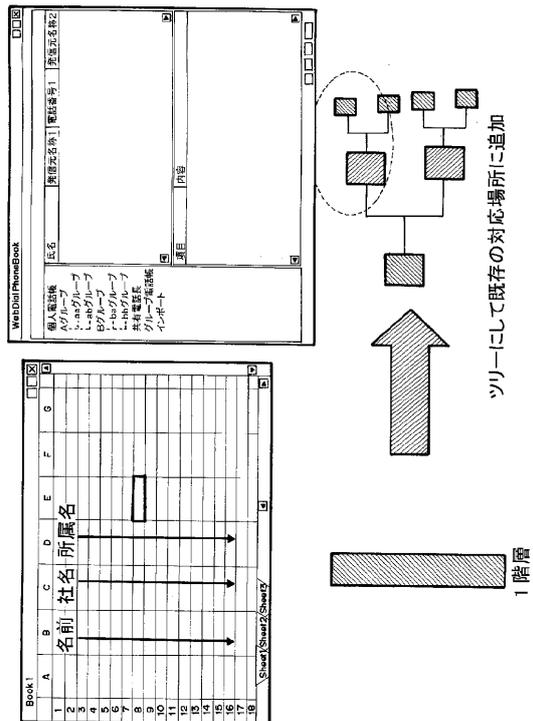
【ローカルPC上のアドレスリンカープログラム構成】

【図3】

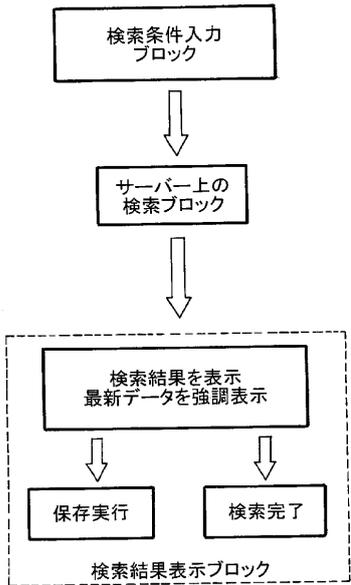
名	姓	メール	電話	携帯電話	会社名	住所	ファイル名
aaa	bbb	aaa@eoutest	1234-56789	9876-543210	NEC Infrontia	〒1-19-9	メール帳1
aaa	bbb	aaa@eoutest1	1234-56789	9876-543210	NEC Infrontia	〒1-19-9	メール帳2
aaa	bbb	ccc@abcdtest	1234-56789	9876-543210	NEC Infrontia	〒1-19-9	個人電話帳
ccc	bbb	ccc@abcdtest	1234-56789	9876-543210	NEC Infrontia	〒1-19-9	OCR名案
ccc	bbb	ccc@abcdtest	1234-56789	9876-543210	NEC Infrontia	〒1-19-9	メール帳1
ccc	bbb	ccc@abcdtest	1234-56789	9876-543210	NEC Infrontia	〒1-19-9	電話帳2
ccc	bbb	ccc@abcdtest	1234-56789	9876-543210	NEC Infrontia	〒1-19-9	個人電話帳
ccc	bbb	ccc@abcdtest	1234-56789	9876-543210	NEC Infrontia	〒1-19-9	OCR名案



【図4】



【図5】



【サーバー上のアドレスリンカープログラム構成】

【図6】

名	姓	メール	電話	携帯電話	会社名	住所	ファイル名
abc	def	abc@eioutest	1111-22334	9899-87654	NEC Infrontia	北野方 2-6-1	メール帳1 電話帳 個人電話帳 OCR名刺 ソフト
ggg	def	ggg@aeitest	4433-22110 4439-22110	9099-87654	NEC Infrontia	神田本社	メール帳2 電話帳1 電話帳2 個人電話帳 OCR名刺 ソフト

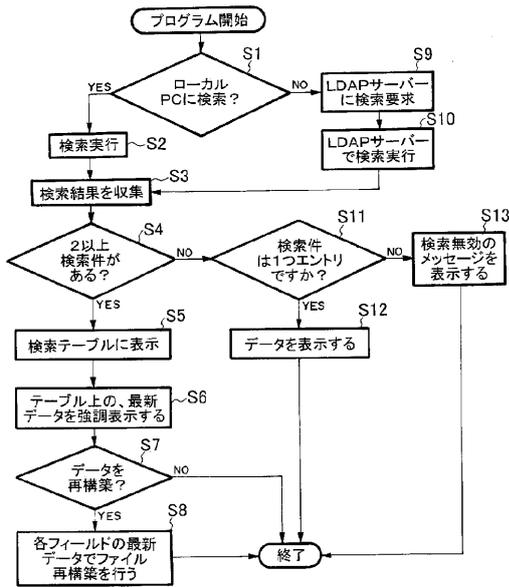
保存実行ボタン

チェックした情報はサーバー上に保存

名	姓	メール	電話	携帯電話	会社名	住所
abc	def	abc@eioutest	1111-22334	9899-87654	NEC Infrontia	北野方 2-6-1

【サーバー上検索結果の一覧表】

【図7】



【ローカルPC上のアドレスリンカーフロー】

【図8】

LDAPクライアント

検索場所

検索条件  or  and

姓

名

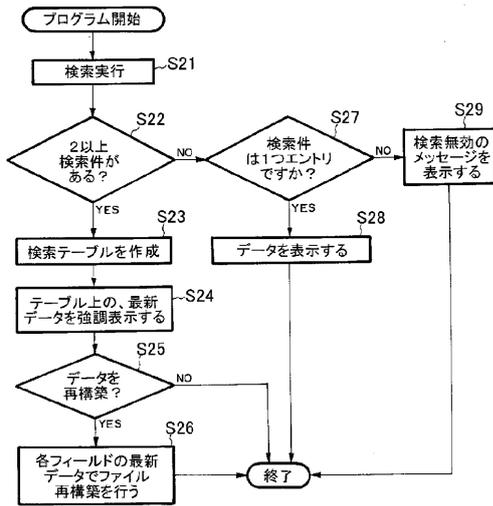
会社名

所属

電子メール

氏名	会社	所属	電子メール

【図9】



【サーバー上のアドレスリンクカーフロー】

## フロントページの続き

- (56)参考文献 特開平11-110406(JP,A)  
特開2000-285136(JP,A)  
特開2001-325275(JP,A)  
特開2003-078617(JP,A)  
特開2002-007400(JP,A)  
特開2003-015919(JP,A)  
特開2002-074320(JP,A)  
特開2001-177540(JP,A)  
特開2003-134217(JP,A)  
落合 隆光, エクセル、年賀状、電子メール... マルチ活用住所録, 月刊 アスキー・PC, 日本, 株式会社アスキー, 2001年12月 1日, 第4巻, 第12号, p.61  
松 時夫 Tokio Matsu, ノーツ探検隊レポート ノーツのひ・み・つ 第6回, Lotus Notes magazine, 日本, ソフトバンク株式会社, 1999年 4月13日, 第30号, p.146-149  
武崎 和隆, 電話帳DBと住宅地図DBの結合法の検討(その2), 昭和62年電子情報通信学会情報・システム部門全国大会講演論文集 昭和62年11月, 日本, 社団法人電子情報通信学会, 1987年10月15日, p.1-111

## (58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

G06F 12/00  
G06F 17/30